

令和2年11月12日

造血幹細胞移植支援システム 医療機関支援機能 公開に向けてのご案内

造血幹細胞移植に係るドナー選定・臍帯血選定を一元的に行い、医療機関の運用利便性向上および造血幹細胞移植の早期化を目的として、造血幹細胞移植支援システム「医療機関支援機能」が令和2年11月30日（月）から提供開始となりますので、以下の通りお知らせします。

1. 医療機関支援機能の提供開始後の主な変更点

- (1) 造血幹細胞移植の患者登録、非血縁ドナーの選定、臍帯血の選定は医療機関支援機能にて実施するよう、従来の手順から変更になります。
- (2) 造血幹細胞移植の申込済み患者の状況が医療機関支援機能にて一元的に確認可能となります。
- (3) 移植医療機関以外の日本骨髄バンク登録医師は、造血幹細胞移植の患者登録が実施できなくなります。※診療科責任医師を通して患者登録の実施が必要となります。

2. 医療機関支援機能の提供にあたって移植医療機関にご協力いただきたい事項

医療機関支援機能の提供開始にあたり、移植医療機関にてご協力いただく点がございます。本案内では主な内容を記載させていただきます。詳細は別途ご案内いたします。

- (1) 医療機関支援機能の提供開始にあたり、移植医療機関の診療科責任医師による機能利用者の登録作業が必要となります。令和2年11月30日の機能提供開始時点の利用者登録に関しては、別途ご案内させていただく予定です。
- (2) 医療機関支援機能はインターネット経由でのアクセスを想定しております。システム側でのセキュリティ対策は実施いたしますが、移植医療機関におかれましても、医療機関支援機能にアクセスするパソコン等にセキュリティ対策をお願いします。
※ウイルス対策ソフトの導入、ブラウザの最新化、など

3. 今後の予定

稼働に向けた情報は本案内を適宜更新し、ご案内させていただきます。

日本赤十字社 血液事業本部
技術部 造血幹細胞管理課